

促進員ニュース

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
調布市は「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています

調布市環境部ごみ対策課 TEL:042-306-8781 FAX:042-368-9921
E-mail: gomitai@city.chofu.lg.jp

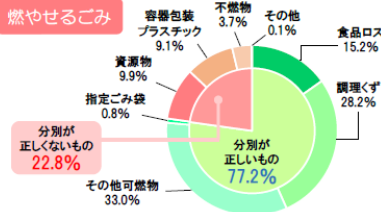
第12号

1 家庭系ごみ等組成分析調査について

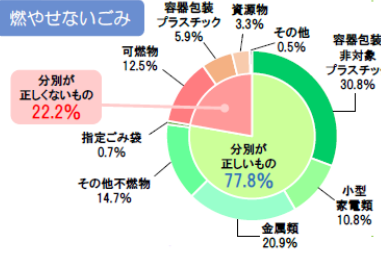


～組成分析調査結果～

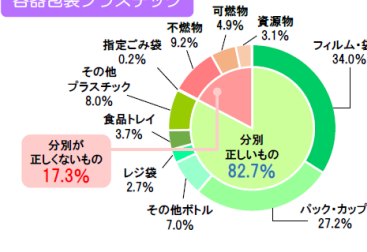
燃やせるごみ



燃やせないごみ



容器包装プラスチック



分別が正しいもの 82.7%
 分別が正しくないもの 17.3%

可燃物 4.9%
 不燃物 9.2% (うち、容器包装非対象プラスチック 8.4%)
 資源物 3.1% など

※単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合があります。

組成分析とは…?

組成分析とは、家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「容器包装プラスチック」の内容を分析し、ごみや資源物が正しく出されているかなどを調査するものです。

調査目的

調布市では、平成31(2019)年3月に「調布市一般廃棄物処理基本計画(改訂版)」を策定し、「未来のため 地球のため さらに減量・リサイクル」をキャッチフレーズとして、ごみの減量施策に取り組んでいます。本調査の目的は、組成分析を行うことで、正しい分別の割合や資源物の割合、食品ロスの排出状況などを把握し、ごみ減量の施策に活かすための資料とすることです。

2 資源物地域集団回収の新規団体募集について

資源物地域集団回収

資源物地域集団回収を始めませんか？

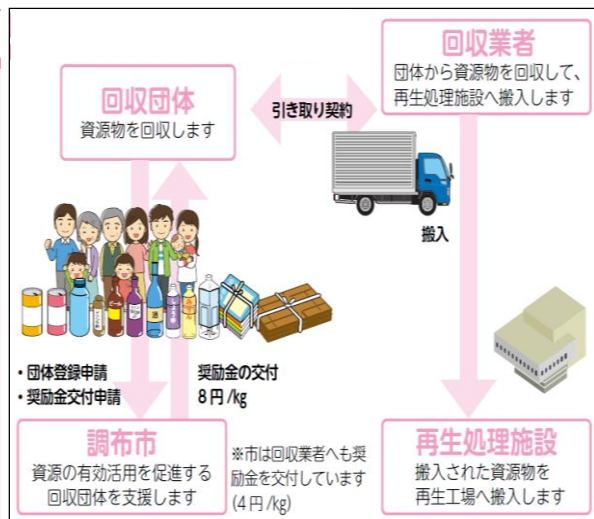
集団回収とは、自治会や学校のPTA、マンションの管理組合などのグループが、新聞や段ボール、雑誌、ビン、缶など資源として再利用出来るものを回収して資源回収業者に引き渡す、自主的な資源回収活動です。回収した資源物の引き渡し量に応じて、回収団体に1キログラムあたり8円の奨励金を交付しています。

集団回収には、こんなメリットがあります！

- ・地域行事などの活動資金として活用することができる。
- ・地域のコミュニケーションが活発になる。
- ・良質な資源が効率よく回収できることで、資源の有効利用が促進される。

お住まいの地域で、集団回収を始めませんか？
みなさまの積極的なご参加をお願いします！

※団体登録や奨励金の申請方法の詳細はごみ対策課 ☎ 042-306-8781 までお問い合わせください。



3 出前講座の活用について

自治会や各種団体向けに「ごみ減量とリサイクル」について出前講座を行っています。市の職員が直接皆様の会合等にお伺いし、ごみの分別や処理について説明します。地域の3R推進に向け、ぜひ出前講座をご活用ください。

裏面に続く ➡

4 令和5年度調布市市政功労賞表彰式について

令和5年11月9日に「令和5年度調布市市政功労者表彰式」を文化会館たづくり12階大会議場で開催しました。

促進員を10年以上務め、長年、調布市廃棄物減量及び再利用促進員として地域の清掃活動等に尽力した功績を称え、青木準一さん、鈴木文夫さん、元部欽司さん、森田正子さん、大野洋子さん、廣瀬満さん、島田源一さん、中村京子さん、安田和則さん、井垣弘子さん、佐久間綾子さん、宇治和子さん、二宮喜恵さんが環境保全功労を受賞しました。

おめでとうございます！



～ 市からのお知らせ ～

●促進員見学会・意見交換会について

令和5年12月6日（水）に促進員見学会として『ジット株式会社 山梨本社』の施設見学を行いました。

ジット株式会社は、使用済みインクカートリッジを回収し、オリジナルインクを注入した「リサイクルインクカートリッジ」を全国に出荷しています。当日は10名の参加者と、選別やインクの注入作業を見学しました。意見交換会では、日頃の取組やごみ対策課へのご意見を共有し、活発な交流の場となりました。次回、多くの方のご参加をお待ちしています！



●令和6年度版調布市ごみリサイクルカレンダー配布

令和6年度版調布市ごみリサイクルカレンダーを全戸配布いたしましたので、ご活用ください。



●電池が取り外せない小型家電について

これまでは市で収集できない品物のため、メーカーや専門業者へ依頼をお願いしておりましたが、令和6年4月からは、有害ごみとして排出が可能になります。

●令和5年度促進員活動報告書の提出について

皆様の1年間の活動内容について、別紙「促進員活動報告書」にご記入いただき、令和6年3月22日（金）までにFAXにて提出をお願いします。

ごみ減量コラム ～春のリデュース・リユース～



春は新たな始まりや生气溢れる季節ですが、同時にごみが多く発生する時期でもあります。新生活の準備で物欲が増えたり、イベント等で消費が増える傾向にあるのです。

ごみの発生を抑えるためには、無駄な買い物をしない「リデュース」が最も大切です。また、お花見やピクニックで食事を楽しむ際、使い捨て容器ではなく食器やコップを使うことでもごみを減らせます。

新生活に向け大掃除をするご家庭も多いかと思います。新たに出た不要品は捨てるのではなく、リユースショップに持っていき、必要な人に譲るなど、様々な方法で「リユース」に繋げましょう。

暖かな季節を楽しみつつ、身近な「もったいない」に目を向けてみませんか。

